

県営中山間地域総合整備事業 大海地区

評価結果

ほ場整備事業の実施により、湿田の解消、農地の大型化が図られ、維持管理の効率化や農地利用率の向上がみられた。

また、ほ場整備を契機に地域の良好な景観や自然環境の保全に資する活動が行われるようになったことに加え、余剰労力を活用して地域特産物である紋平柿や小菊かぼちゃを生産し、地域の活性化を目指すなど、本事業の効果が発揮されている。

地区概要

- 箇所名：石川県かほく市八野、黒川地内
- 工事内容：ほ場整備 A=34.0ha
暗渠排水 A=14.4ha
- 総事業費：1,023百万円
- 受益面積：34.0ha
- 事業期間：平成12年度～平成17年度

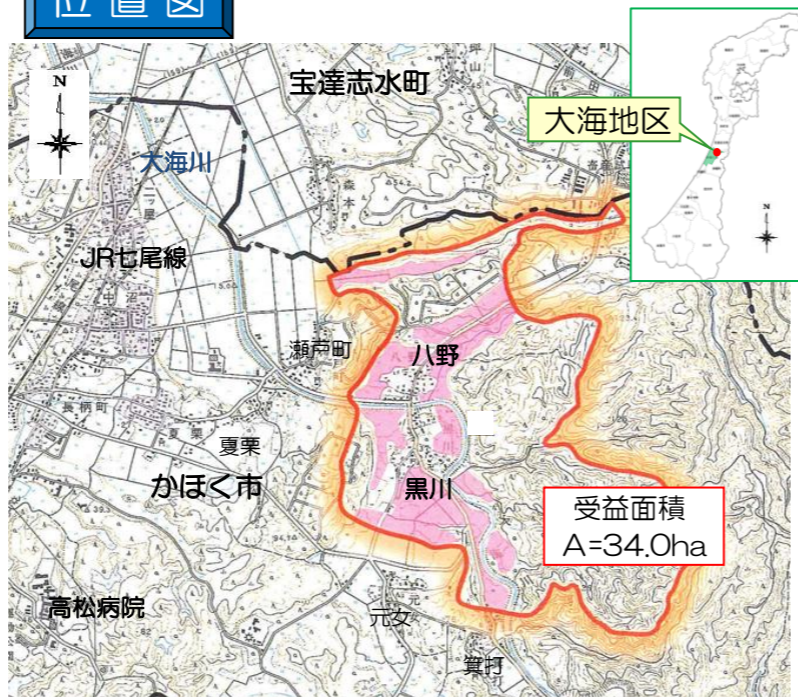
整備前

- ほ場区画：8a
- ほ場枚数：約920枚



- ・区画が小さく大型機械が入れない。
- ・水はけが悪く、湧水の影響による湿田が多い。
- ・耕作が困難で一部荒地もみられた。

位置図



受益面積
A=34.0ha

整備後

- ほ場区画：30a
- ほ場枚数：約145枚

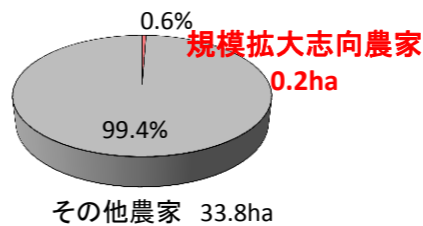


- ・大区画等の整備により作業効率が向上した。
- ・用排水路や暗渠排水が整備され、湿田がなくなった。
- ・耕作困難な田が改善され、生産量も拡大した。

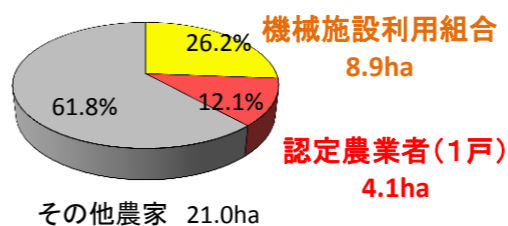
図で見る事業効果

農地の集積状況

事業実施前



事業実施後



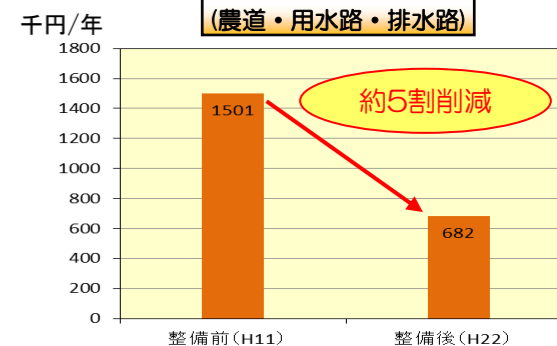
約4割を集積

農地の利用率



約4割向上

維持管理費の節減 (農道・用水路・排水路)



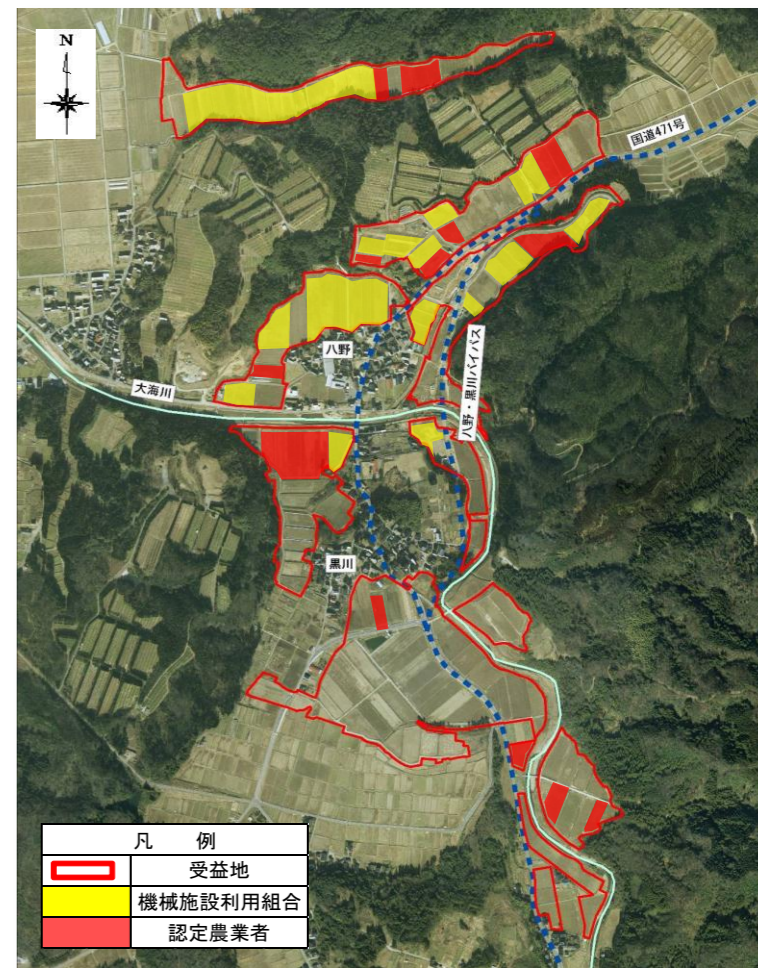
約5割削減

地元の声

- ・大型機械で作業がやりやすくなった。
- ・水の管理が楽になった。
- ・田差がなくなり機械の乗り入れも楽になったため、安全になった。
- ・地域の生活環境が良くなった。

今後の取り組み

区画整理を契機とした大型機械の導入や用水パイプライン化等による営農経費の節減及び乾田化による生産量の増加が図られている。
本地域では、高齢化の進展及び地域農業の維持発展に対応するため、担い手の育成や営農組合による農地集積を進めるとともに、余剰労力を活用して小菊かぼちゃや紋平柿などの地域特産物の営農・販売を促進し、地域の活性化を図ることとしている。



整備後の営農状況

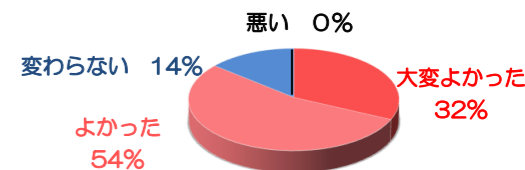
地域の特産物の生産

景観・自然環境の保全活動



アンケート調査結果

ほ場整備が行われたことは地域としてよかったと思いますか？



配布：71世帯 回収：52世帯 (73%)